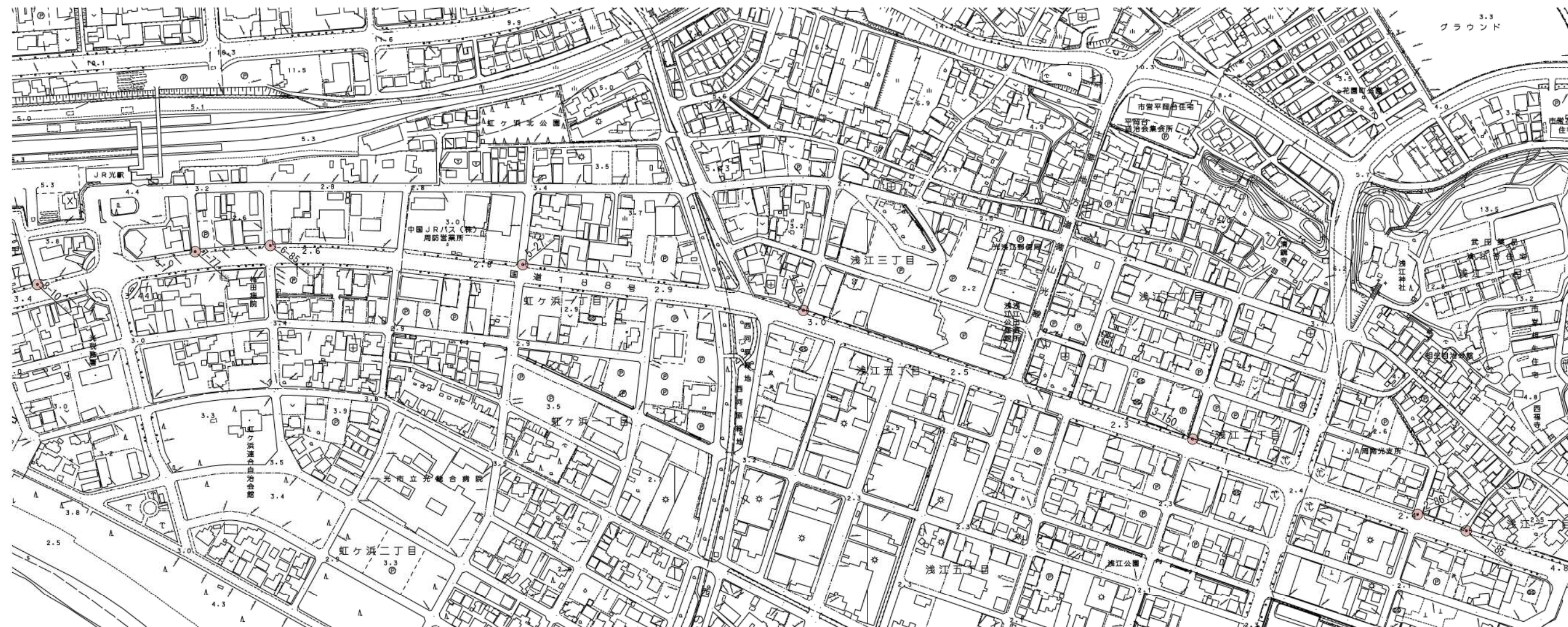


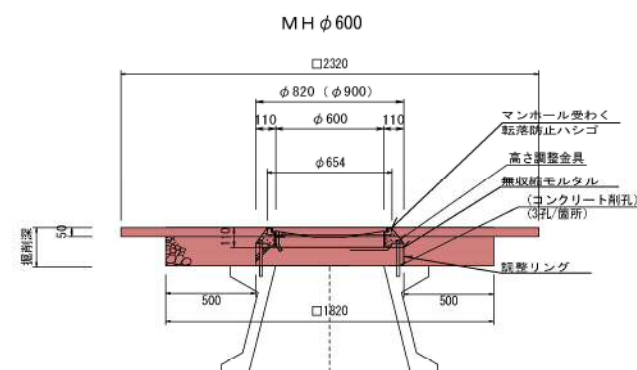
平面図 S=1:2000 (A箇所)

- マンホール蓋 T-25 8箇所
マンホール蓋 T-14 0箇所



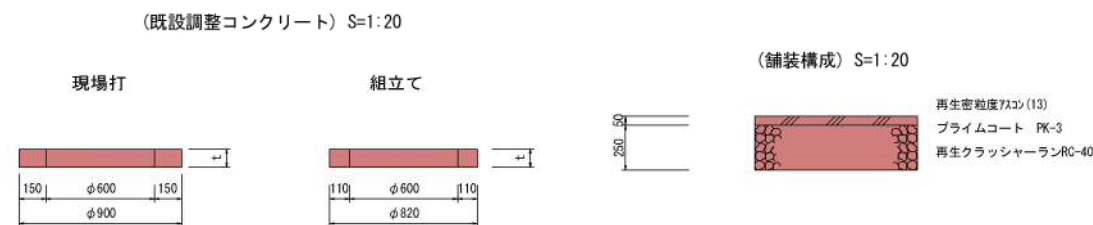
27	-	26	2.320
工事		MH	地盤高さ
番号		番号	

標準図 S=1:20



※ 上記図は標準図であるため、工事着手前に各マンホールの調整高さの現地照査を行い、必要な調整リングの高さ及び無収縮モルタルの量について、確認すること。

構造図 S=図示



※ 舗装構成については、原形復旧を原則とすること。(厚さ等が不明な場合に上記図を標準とする)

設計の種別			
令和7年度 管渠改築工事補助第1-2工区			
所在地	光市浅江、光井地内		
平面図、標準図、構造図	縮尺	図示	
図面3葉中第1号		光市	

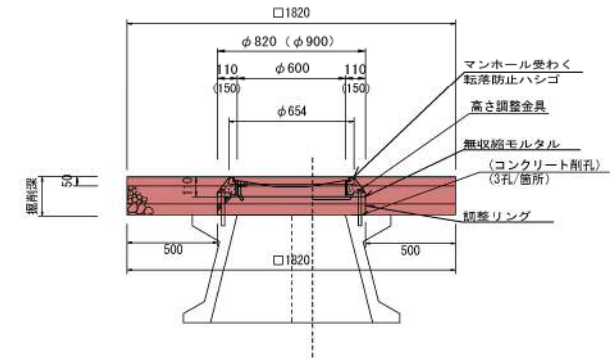
平面図 S=1:1000 (B箇所)

- マンホール蓋 T-25 15箇所
マンホール蓋 T-14 0箇所



27 - 26 2.320
工事 MH 地盤高さ
番号 番号

標準図 S=1:20

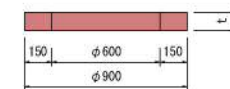


※ 上記図は標準図であるため、工事着手前に各マンホールの調整高さの現地照査を行い、必要な調整リングの高さ及び無収縮モルタルの量について、確認すること。
※ () : 現場打ちマンホールの場合

構造図 S=図示

(既設調整コンクリート) S=1:20

現場打



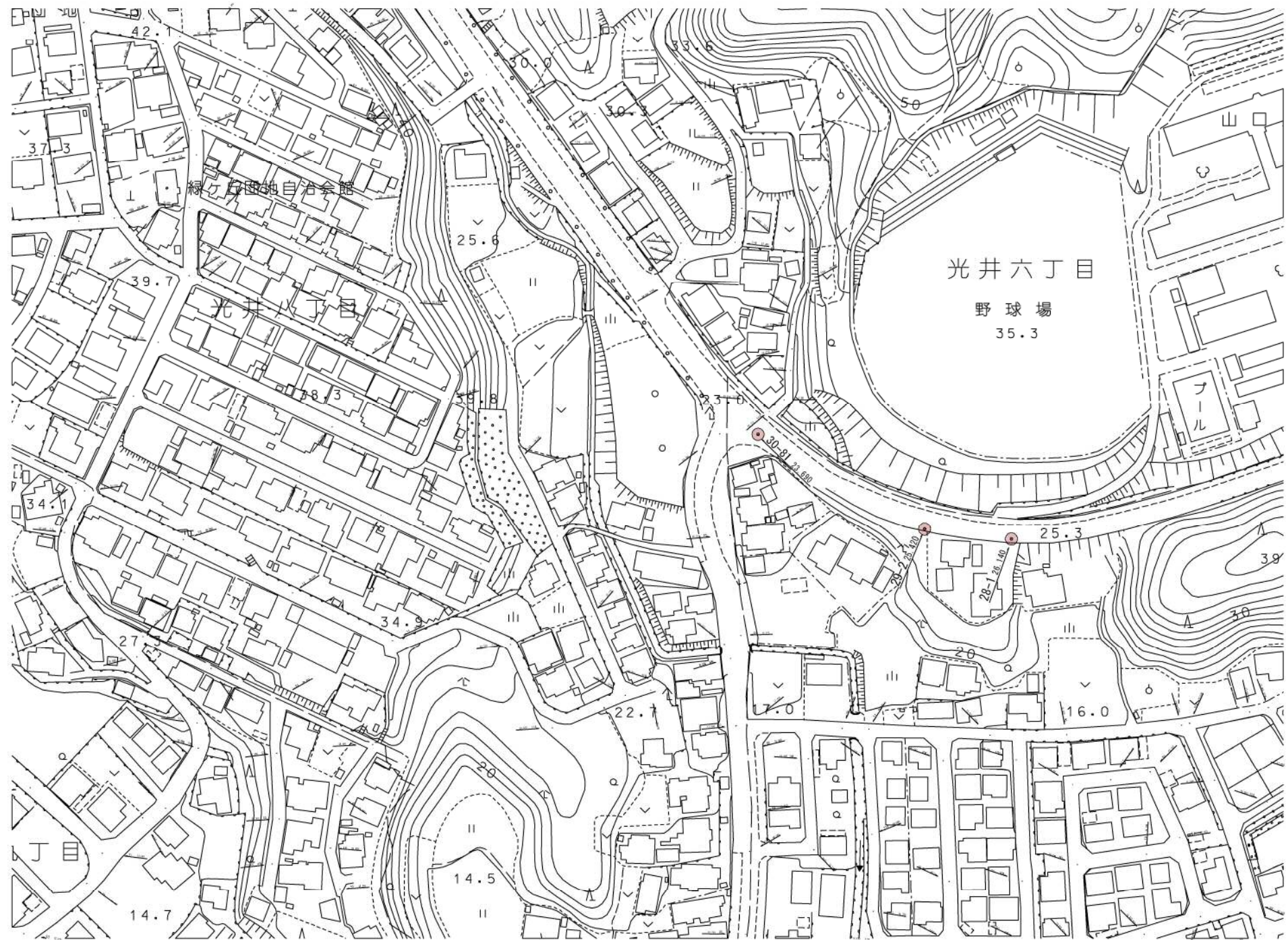
(舗装構成) S=1:20



設計の種別		
所在地	令和7年度 管渠改築工事補助第1-2工区 光市浅江、光井地内	
平面図、標準図、構造図	縮尺	図示
図面3葉中第2号		光市

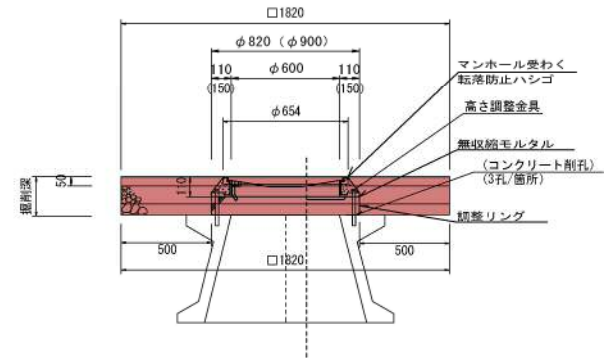
平面図 S=1:500 (C箇所)

- マンホール蓋 T-25 3箇所
マンホール蓋 T-14 0箇所



27 - 26 2.320
工事 MH 地盤高さ
番号 番号

標準図 S=1:20

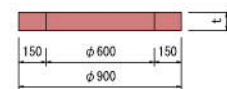


※ 上記図は標準図であるため、工事着手前に各マンホールの調整高さの現地照査を行い、必要な調整リングの高さ及び無収縮モルタルの量について、確認すること。
※ () : 現場打ちマンホールの場合

構造図 S=図示

(既設調整コンクリート) S=1:20

現場打



(舗装構成) S=1:20



設計の 種 別			
令和7年度 管渠改築工事補助第1～2工区			
所在地	光市浅江、光井地内		
平面図、標準図、構造図	縮 尺	図示	
図面3葉中第3号		光 市	